

湊川相野学園 13

ニュース

発行:2015年12月
湊川相野学園理事長室会

No. 13

ひとを育て、ともに歩んで100周年



「みなとっち保育まるごとフェスタ」

11月21日(土曜日)午前10時30分から午後2時30分まで、短大子育て支援センターにおいて「みなとっち保育まるごとフェスタ」が開催されました。センターと短大の教職員・学生が、子育て応援をする目的で、演奏、ミュージカル、親子の遊び、絵本の読み聞かせ、親子たいそう、などのメニューの他、クレープ・クッキーなどの販売もして親子の楽しい一日を満喫してもらいました。日頃みなとっちひろばをご利用の方以外にもたくさんの親子、家族連れが参加され、あらためて保育に関する関心の高さを実感しました。



「北摂第一幼稚園音楽会」(12月5日)

12月5日(土曜日)北摂第一幼稚園(大前通代園長)で保護者参観音楽会が行われ、2・3歳児、4歳児、5歳児それぞれに歌や楽器による演奏を発表しました。演奏会場に入るとき園児たちのほとんどは、自分の保護者の位置を確かめ、アイコンタクトのあと安心してステージに上がっていったのが印象的でした。園長は、「音楽を通じて集中力や協調性を養い、このようなハレの場を提供することで園児たちと保護者の皆さんが子として、親として互いに成長したことを再認識していただければと思います。また、以前にはステージにさえ上がれなかった園児が、仲間たちと演奏している姿を見て心から嬉しく思いました。そして、自分の歌や演奏だけではなく、お友達や先生の「音」を聞けることが大切なことです。」ともおっしゃいました。園児、保護者、教職員が一つになれる音楽会、これからも続けて欲しいと感じました。



「三田松聖高等学校2年生 アーチェリーで県新人戦優勝」(松聖アーチェリー同好会)

10月25日しあわせの村で、小島瑞月さんが『第62回兵庫県高等学校体育連盟新人戦アーチェリー競技会』で優勝しました。距離は新人戦最長の70m。自分との闘いであるこの競技では、集中力とメンタルの強靭性が要求されます。小島さんは、「自分が成長する上でも、きっと役立つ。」と感じたそうです。自宅でも筋トレを欠かさず、自分をもっと磨きたいと話してくれました。今は大切な視力が衰えないように気をつけているそうです。顧問の東崎先生は、「当たり前なことを当たり前に行えるように。」という指導を常にしているそうです。また、競技の特性上、プラス思考の自分をイメージしてくれるように願っているとのことでした。



お知らせ

2015年12月1日より2016年3月23日(予定)、短大学生寮(翠光寮・楠木寮)が寮生のライフスタイルの変化を考慮し、トイレ、洗面所をはじめ共用部分の改修・補修工事を行います。主に寮生の安全衛生面を向上するのが目的ですが、キャンパス内の寮のイメージアップになるよう配慮しています。